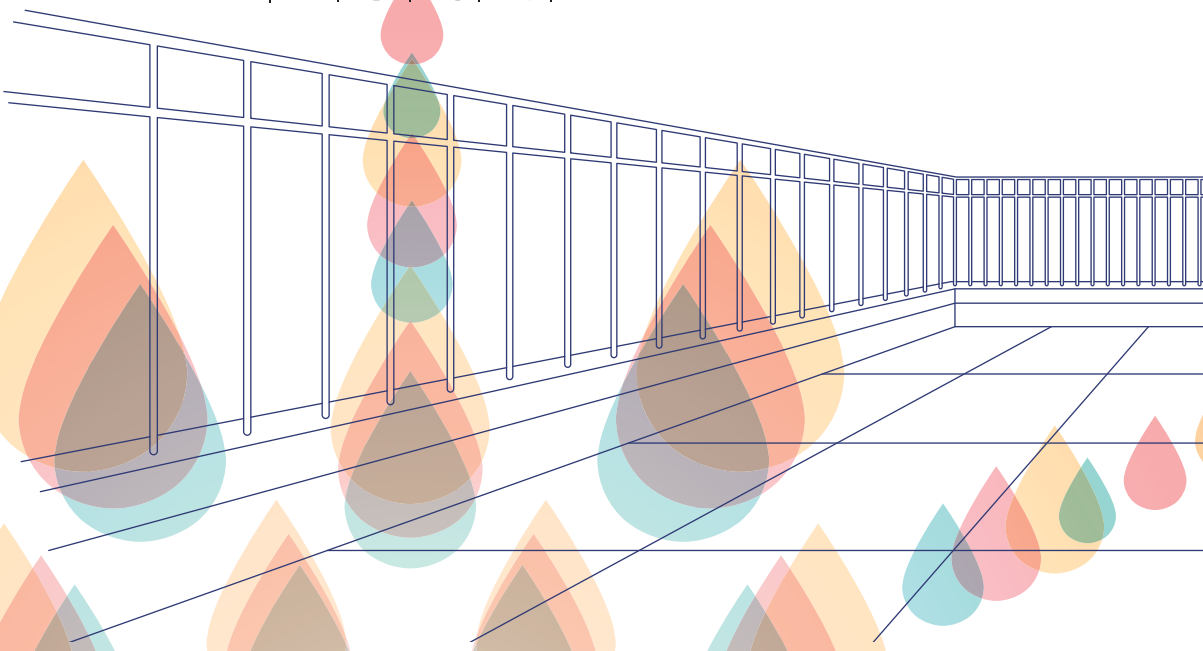
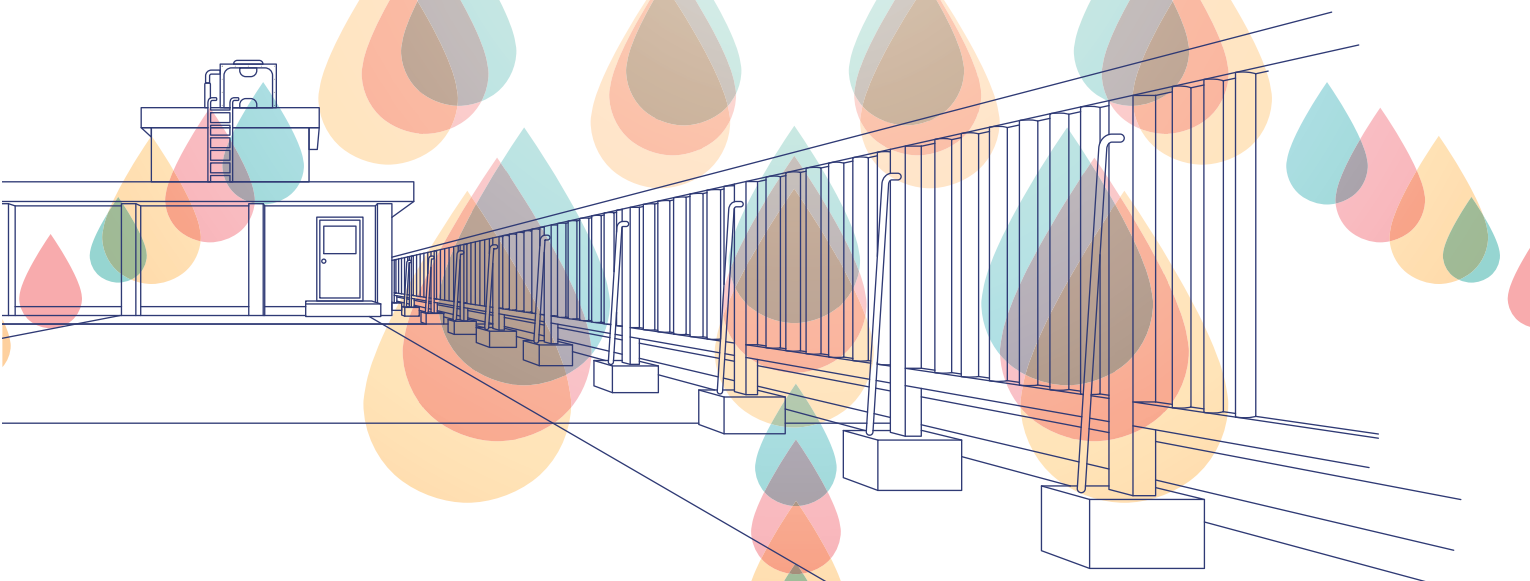
建築物用



超速硬化防水システム

# アクアハジクン®



NIPPON AQUA

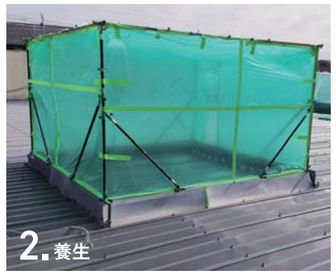
# 防水施工の常識を変える超速硬化＆高耐久性。

## アクアハジクン®ポリウレア工法の特長

スプレー塗布後に超速硬化 **短工期**

### 専用施工システムによるスピーディ施工


1.下地処理


2.養生


3.プライマー施工


4.塗膜吹付け


5.硬度測定


膜厚測定


6.トップコート施工

## 施工機械




## アクアハジクン®の特長

優れた強度と防水性能 **長期性能**

### ポリウレアとは

ポリウレア樹脂は1980年代にアメリカで開発され、1990年代に各種用途に発展した材料です。軍事施設の防爆対策にも使用されています。その優れた物性は建物の長寿命化が求められるこれからの防水材料です。

**JASS8性能試験において**
**耐久性30年※相当確認**

**※最長15年保証に対応！**

※独立行政法人建築研究所「建築物への長期使用に対応した外装防水の品質確保ならびに維持保全手法の開発に関する研究」報告書参照

円は樹脂を構成している分子の網目を表しています。もっと細かな樹脂を構成している各原子レベルでさらに結びつきを強めようと結びつく先を求めて原子が手を伸ばしています。

**ポリウレタン樹脂の場合**




ウレタン樹脂はより細かな原子レベルでの結びつきが弱く（相互作用が弱い）単純な分子レベルでの結合のみで、紫外線に弱い。

**ポリウレア樹脂の場合**




それぞれの原子が分子より細かなところで次々と結びつきができている状態なので、長期間劣化しにくい。

**商品一覧**

| 品番 | 製品呼称（一般名） |
|---|---|
| AQ2000A/B（ハイグレード） | ポリウレア（高強度形） |
| AQ3000A/B | ポリウレア（高強度形） |

各種プライマー
※プライマーは下地に応じて適するものを選定します。
トップコート

**トップコート標準色**

ライトグレー　日塗工 色見本帳・色票番号 N－55近似色

※その他の色はオプションです。※実際の色味と多少異なります。

## アクアハジクン®とは

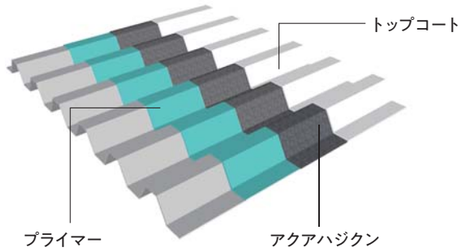
●JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形の製品で、歩行用共用防水グレードであり、優れた伸び特性が特長です。

●高い抗張積を有し、国土交通省監修「建築工事監理指針」における塗膜防水「標仕」以外の工法”高強度超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水”に適合する防水材料です。

■歩行分類
●歩行用：不特定多数の歩行に供する場合　●軽歩行用：特定の人の歩行に供する場合
●非歩行用：点検程度の人の歩行に供する場合

# 多彩な用途に対応。工法紹介

## 金属屋根塗膜防水AQ-IR工法

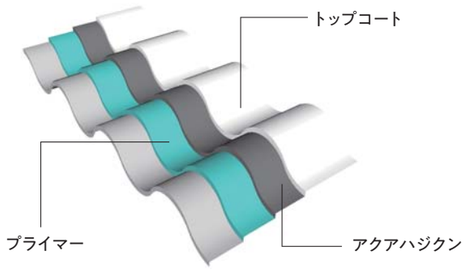



- 金属屋根の防水・補強を兼ねた改修工法です。
- 既設の屋根を撤去しないまま工事可能なため改修コストを大幅削減し、産廃コストを削減。
- 大抵は室内の物を撤去しないまま工事ができます。
- スプレー工法なので、複雑な形状に下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- 金属表面の錆びや劣化を防止し、長期間にわたり屋根を守ります。
- 遮熱トップコートを併用する事で、夏期の温度上昇を抑制します。
- 雨や風の音を和らげる効果があります。

仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2 | 標準トップ遮熱仕様 |
| 2:アクアハジクン | 1.6~2.0 | 防水層厚み1.6~2.0mm |
| 3:トップコート(遮熱) | 0.2 | |

## 特殊屋根(スレート)塗膜防水AQ-SC工法



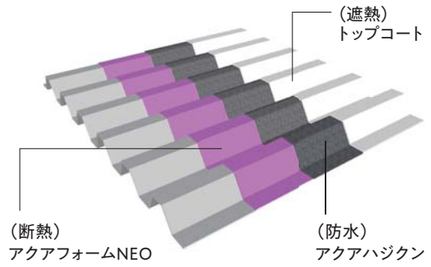

- スレート屋根の防水・補強を兼ねた改修工法です。
- 既設の屋根を撤去しないまま工事が可能なため改修コストを大幅削減し、産廃コストを削減。
- 大抵は室内の物を撤去しないまま工事できます。
- スプレー工法なので、複雑な形状に下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- 強靭な防水層が長期間にわたり屋根を守ります。
- 遮熱トップコートを併用する事で、夏期の昇温を抑制します。
- 雨や風の音を和らげる効果があります。

仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2 | 標準トップ遮熱仕様 |
| 2:アクアハジクン | 1.6~2.0 | 防水層厚み1.6~2.0mm |
| 3:トップコート(遮熱) | 0.2 | |



## 金属屋根断熱+塗膜防水AQ-DIR工法




### 金属屋根/特殊屋根(スレート) 共通

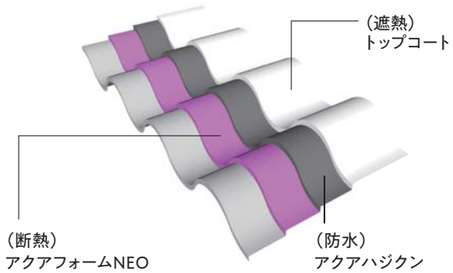
- 屋根の断熱・遮熱・防水・修繕・補強を兼ねた改修工法です。
- 硬質ウレタンフォームと遮熱トップコートを併用する事で、夏期の温度上昇を抑制します。
- 既設の屋根を撤去しないまま工事可能なため改修コストを大幅削減し、産廃コストを削減します。
- 室内の物を撤去しないまま工事が可能です。
- スプレー工法なので、複雑な形状の下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- 割れ・錆び・劣化を予防し、長期間にわたり屋根を守ります。
- 雨や風の音を和らげる効果があります。

仕様例

| 工程 | 仕様 | 備考 |
|---|---|---|
| 1.アクアフォームNEO | 厚み:10[mm] | ・吹付け硬質ウレタンフォーム<br>・熱伝導率:0.026[W/(m・K)]<br>・吹付け後60秒で表面硬化<br>・屋根へ自己接着 |
| 2.アクアハジクン | 2.0[kg/㎡]<br>厚み:2[mm] | ・吹付けポリウレア防水<br>・JASS8性能試験 耐久性30年相当<br>・吹付け後30秒で硬化<br>・アクアフォームNEOへ自己接着 |
| 3.トップコート(遮熱) | 塗布量:0.2[kg/㎡] | ・超耐候性保護仕上げ材<br>・紫外線劣化を防止<br>・赤外線による熱を遮断 |

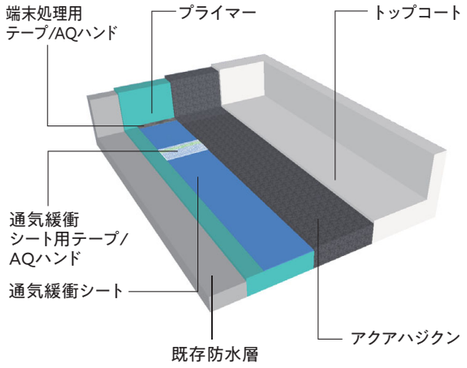
※既設の屋根の状況に合わせて、下地処理(洗浄・シーリング処理・テープ処理・プライマー塗布)を行います。

## 特殊屋根(スレート)断熱+塗膜防水AQ-DSC工法



# 多彩な用途に対応。工法紹介

## 通気緩衝AQ-VB工法



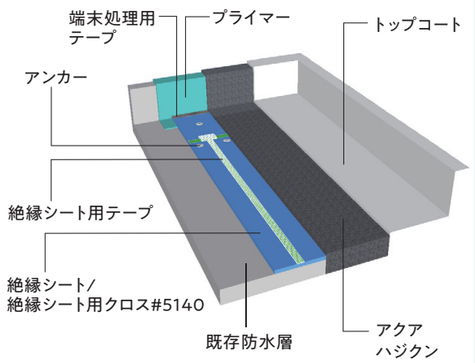

- 下地と防水層の間に通気緩衝シートを設置し、その上へ防水層を吹付ける工法です。
- 水分を効率良く排出し、膨れや剥離を防止できます。
- 下地の膨張・収縮によるクラック部の動きを和らげ、防水層の破断を防ぎます。
- 水分が多く含まれている下地に対する改修工事に適しています。
- 既存層の撤去が容易な改修工事の場合は、機械的固定工法よりも低コスト・短工期での施工が可能です。

仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2 | 歩行用仕様 |
| 2:通気緩衝シート/ | 1.06m | 防水層厚み |
| 通気緩衝シート用テープ/ | 1.06m | 2.0/3.0mm |
| AQハンド/端末処理用テープ | ー | |
| 3:アクアハジクン | 2.0/3.0 | |
| 4:トップコート | 0.2 | |
| 1:プライマー | 0.2 | 立上り仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.0 | 防水層厚み |
| 3:トップコート | 0.2 | 2.0mm |

※下地に水分が多く含まれている場合は、施工後一定期間は膨れ・シワが発生する事がありますが、
水分の排出とともに低減します。防水性能上の問題はありません。

## 機械的固定AQ-ML工法




- 既存防水層の上へ絶縁シートをアンカーで固定し、その上へ防水層を吹付ける工法です。
- 通気緩衝シートと同様、既存層の水分を排出し、膨れや剥離を防止します。
- 既存層を撤去しないため、産廃コストを削減。
- 既存層の撤去が困難な改修工事の場合は、通気緩衝工法よりも低コスト・短工期での施工が可能です。

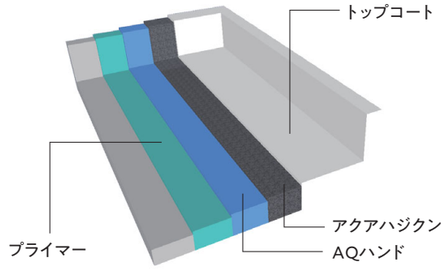
仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:絶縁シート/アンカー/ | 1.06m | 歩行用仕様 |
| 絶縁シート用テープ/クロス#5140/ | 0.06 | 防水層厚み |
| AQハンド/端末処理用ﾃｰﾌﾟ | ー | 2.0~3.0mm |
| 2:アクアハジクン | 2.0/3.0 | |
| 3:トップコート | 0.2 | |
| 1:プライマー | 0.2 | 立上り仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.0 | 防水層厚み |
| 3:トップコート | 0.2 | 2.0mm |

※下地に水分が多く含まれている場合は、施工後一定期間は膨れ・シワが発生する事がありますが、
水分の排出とともに低減します。防水性能上の問題はありません。



## 複合密着AQ-LAC工法

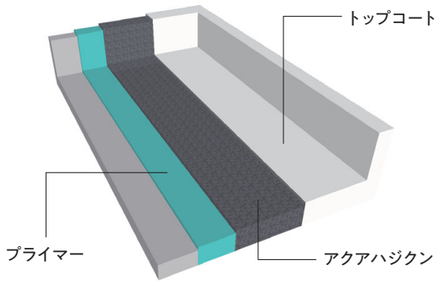



- アクアハジクンと高伸長型AQハンド手塗り防水材を組み合わせる事で、下地の動きに対する追従性を持たせ、重歩行・重荷重の用途に適した工法です。
- 塗膜が軽量で、建物への荷重を軽減できます。
- 防水層の上へウッドデッキ、屋上緑化、置きタイルなどの設置が可能です。

仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2 | 歩行用仕様 |
| 2:AQハンド | 0.7~1.3 | 防水層厚み2.5~3mm |
| 2:アクアハジクン | 2.0 | |
| 4:トップコート(遮熱) | 0.2 | |

## 密着AQ-LA工法




- 最も低コスト短工期で屋根の防水施工ができる密着工法です。その反面、下地の水分が排出できないため、施工後一定期間は膨れ・剥離が発生しやすく見栄え上の妥協が必要となる場合があります。
- スプレー工法なので、複雑な形状に下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- 屋上・バルコニー・庇など施工箇所や規模を問いません。

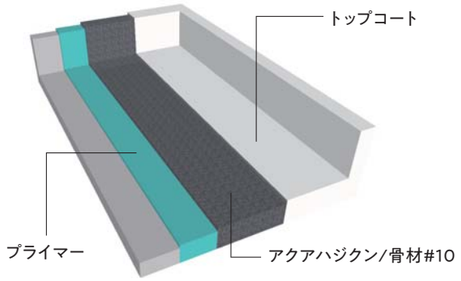
仕様

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2 | 歩行用仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.0/3.0 | 防水層厚み |
| 3:トップコート | 0.2 | 2.0/3.0mm |
| 1:プライマー | 0.2 | 立上り用仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.0 | 防水層厚み |
| 3:トップコート | 0.2 | 2.0mm |

※下地の水分による膨れの発生リスクは防水材の種類に関わらず同様です。防水性能上は問題ありません。
また、通気緩衝工法・機械的固定工法では、水分の排出とともに予防できます。

# 多彩な用途に対応。工法紹介

## 駐車場塗膜防水AQ-PK工法

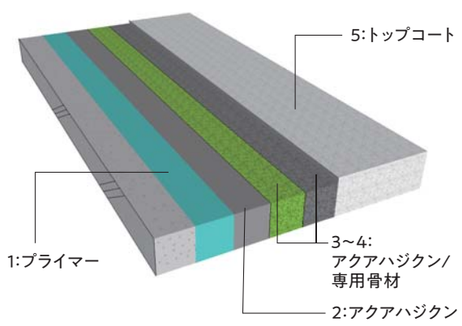



- 駐車場の床を長期にわたり防水・防滑を行う工法です。
- 車両による摩耗や擦れに対する耐久性が高く、ヒビ割れしにくいため、安全な走行性を実現。
- スプレー工法なので、複雑な形状に下地に対しても防水層を均一に塗布できます。
- コンクリート押さえ不要のためコストを大幅に削減。
- 万が一、重量物の落下等により防水層が傷ついても、補修が容易です。

**仕様**

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | | 平場仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.0 | 防水層厚み |
| 3:アクアハジクン/骨材#10 | 1.0/0.4 | 3.0mm |
| 4:トップコート | | |

## 中型~大型自動車等




**仕様**

| 工程 | 使用料(kg/㎡) | 備考 |
|---|---|---|
| 1:プライマー | 0.2~0.4 | 平場仕様 |
| 2:アクアハジクン | 2.5 | |
| 3:アクアハジクン/専用骨材 | 1.0/0.4 | 防水層厚み |
| 4:アクアハジクン/専用骨材 | 1.0/0.4 | 平均厚み4.5mm |
| 5:トップコート | 0.2~0.3 | |

実物サンプル貼付け欄

# さまざまな施工実績

## 穴があいたストレート屋根の改修




## 鉄道駅舎屋上




## 折板屋根　改修



## JR車両洗浄タンク修繕工事



## 屋外タンク断熱・防露・防水



## 立体駐車場スロープ




## マンション屋上



## 崩れた地下ピットの補強



# さまざまな施工実績

## 寺院建造物　改修



## ガソリンスタンド折板屋根　改修



## トラック荷台 塩害防止ライニング



## 老朽化・漏水したビルの改修




## 塩ビシート防水の改修




## アスファルトシートの改修




## 食品工場の床

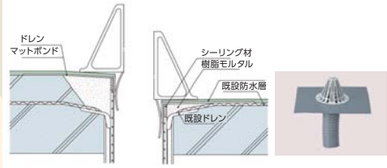


改修・修繕・補強など、ご相談ください。

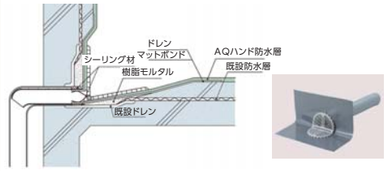


# 納まり例

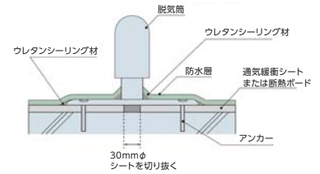
### 縦引き改修用ドレン タテ



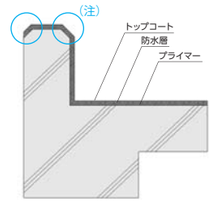

### 横引き改修用ドレン ヨコ



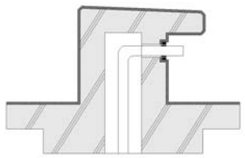

### 脱気筒（通気緩衝シート・絶縁シート用）



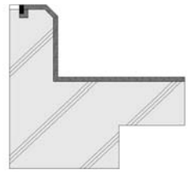

### パラペット



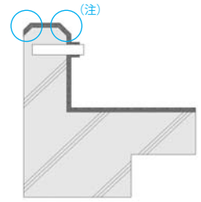

### ハト小屋



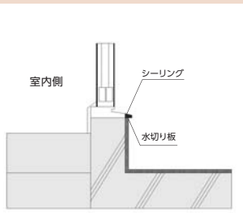
### パラペット タイル取り合い



### パラペット 丸環まわり



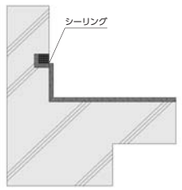

### 開口部



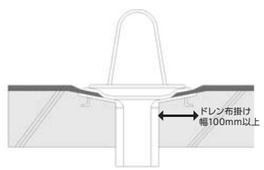

### トップライト



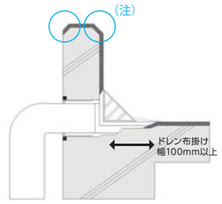

### 立上り 目地設置



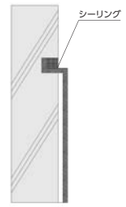

### タテ型ドレン



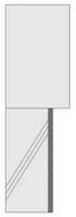

### ヨコ型ドレン



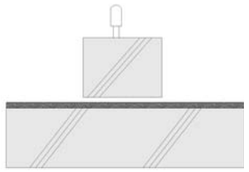

### 出巾木



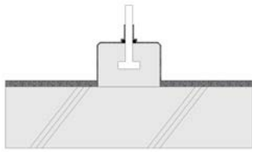

### 入巾木



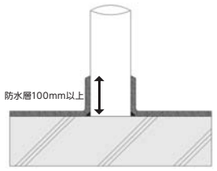
### 置基礎



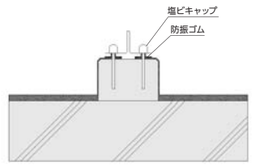
### フェンス基礎



### 貫通パイプ




### 基礎架台




（注）膜厚および接着性確保のため出隅は幅 10~30mm 程度に面取りを行ってください。

# 各種物性値

### アクアハジクン物性
### 一般性状

| 原液名 | AQ2000A | | AQ2000B | | AQ3000A | | AQ3000B | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 主成分 | 硬化剤 | 特殊レジン成分 | 主剤 | イソシアネート成分 | 硬化剤 | 特殊レジン成分 | 主剤 | イソシアネート成分 |
| 外観 | 褐色透明液体 | | 淡黄色透明液体 | | 褐色透明液体 | | 淡黄色透明液体 | |
| 粘度(mPa･s/25℃) | 500-900 | | 1000-1200 | | 550 | | 600 | |
| 比重 | 1.004 | | 1.16 | | 1.02 | | 1.12 | |
| 配合比(vol.) | 100 | | 100 | | 100 | | 100 | |

### 下地接着力

| 下地 | 試験方法 | 強度 | 状態 |
|---|---|---|---|
| スレート | 180° はく離(N/25mm) | 150 | 塗膜材破 |
| コンクリート | 建研式(N/mm²) | 2.3 | 下地より材破 |

### 下地亀裂抵抗性

| | AQ2000 | AQ3000 |
|---|---|---|
| 塗膜厚み(mm) | 2 | 2 |
| ゼロスパン(mm) | 20 | 15 |

### 一般物性

| | AQ2000 | AQ3000 |
|---|---|---|
| 硬化物密度(Mg/m³) | 1.0 | 1.0 |
| 硬さ(JIS)Aタイプ<br>Dタイプ | 95<br>48~52 | 95<br>45 |
| 指触乾燥時間(秒/20℃) | 15~20 | 8~15 |
| 初期硬化時間(分/20℃) | 6~8 | 2~4 |

### 危険物区分

| | |
|---|---|
| AQ2000A | 4類3石 非水溶性 |
| AQ2000B | 4類3石 非水溶性 |
| AQ3000A | 4類4石 |
| AQ3000B | 4類3石 非水溶性 |

### 危険物区分

| | トップコート |
|---|---|
| 主剤 | 4類2石 非水溶性 |
| 硬化剤 | 4類1石 非水溶性/4類2石 非水溶性 |

### 高強度形

| 項目 | | 種類 | JIS A 6021:2011 屋根用ウレタンゴム系 高強度形共用 | AQ2000 (ハイグレード) | AQ3000 |
|---|---|---|---|---|---|
| 引張性能 | 引張強さ N/mm² | 試験時温度 23℃ | 10以上 | 21 | 20 |
| | | 試験時温度 −20℃ | 10以上 | 30 | 33 |
| | | 試験時温度 60℃ | 6.0以上 | 16 | 18 |
| | 破断時の伸び率 % | 試験時温度 23℃ | 200以上 | 340 | 300 |
| | 抗張積 N/mm | 試験時温度 23℃ | 700以上 | 1,433 | 1,200 |
| | 破断時のつかみ間の伸び率 % | 試験時温度 23℃ | 120以上 | 190 | 160 |
| | | 試験時温度 -20℃ | 100以上 | 100 | 110 |
| | | 試験時温度 60℃ | 100以上 | 210 | 200 |
| 引裂性能 | 引裂強さ | N/mm | 30以上 | 97 | 80 |
| 加熱伸縮性能 | 伸縮率 | % | −1.0以上1.0以下 | −0.1 | −0.2 |
| 劣化処理後の引張性能 | 引張強さ比 % | 加熱処理 | 80以上 | 103 | 105 |
| | | 促進暴露処理 | 60以上 | 78 | 100 |
| | | アルカリ処理 | 60以上 | 103 | 105 |
| | | 酸処理 | 80以上 | 107 | 105 |
| | 破断時の伸び率 % | 加熱処理 | 180以上 | 340 | 320 |
| | | 促進暴露処理 | 180以上 | 380 | 300 |
| | | アルカリ処理 | 180以上 | 350 | 300 |
| | | 酸処理 | 180以上 | 360 | 310 |
| 伸び時の劣化性状 | | 加熱処理 | いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。 | 異常なし | 異常なし |
| | | 促進暴露処理 | | 異常なし | 異常なし |
| | | オゾン処理 | | 異常なし | 異常なし |
| 固形分 % | | 主剤 | 表示値±3.0 | 99以上 | 99.0 |
| | | 硬化剤 | | 99以上 | 98.0 |
| 硬化物密度 | | Mg/m³ | 表示値±0.1 | 1.0 | 1.0 |

※性能の改善により、物性値は変わることがあります。 ※当社実測値であり、保証値ではありません。

### 耐薬品性評価結果*1

| 分類 | 薬品名 | | AQ2000 | AQ3000 | 保護仕上材あり |
|---|---|---|---|---|---|
| 無機酸 | 塩酸 | 5% | A1 | A1 | A1 |
| | 塩酸 | 10% | A1 | A1 | A1*2 |
| | 塩酸 | 30% | C1 | C1 | C1*3 |
| | 硫酸 | 5% | A1 | A1 | A1 |
| | 硫酸 | 10% | A1 | A1 | A1 |
| | 硫酸 | 30% | A1 | A1 | A1 |
| | 硝酸 | 10% | B2 | B2 | B2 |
| | 硝酸 | 30% | C3 | C3 | C1 |
| | リン酸 | 10% | A1 | A1 | A1 |
| | リン酸 | 30% | A1 | A1 | A1 |
| 有機酸 | 酢酸 | 5% | A1 | A1 | A1 |
| | 酢酸 | 10% | A1 | A1 | A1 |
| | 酢酸 | 30% | B1 | A1 | A1 |
| | 乳酸 | 10% | A1 | A1 | A1 |
| | 乳酸 | 30% | A1 | A1 | A1 |
| | 酪酸 | 10% | B1 | B1 | B1 |
| | 吉草香酸 | 10% | C1 | C1 | C1 |
| アルカリ | アンモニア水 | 5% | A1 | A1 | A1 |
| | 水酸化ナトリウム | 2% | A1 | A1 | A1 |
| | 水酸化ナトリウム | 10% | A1 | A1 | A1 |
| | 水酸化ナトリウム | 30% | A1 | A1 | A1 |
| 塩 | 次亜塩素酸ナトリウム | 12% | A3 | A3 | A1 |
| その他 | エタノール | | C1 | B1 | B1 |
| | 灯油 | | A1 | A1 | A1 |
| | 軽油 | | A1 | A1 | A1 |
| | 大豆油 | | A1 | A1 | A1 |
| | 潤滑油 | | A1 | A1 | A1 |
| | 塩素系洗剤 | | A2 | A2 | A1 |
| | 塩化ベンザルコニウム(消毒液) | | A1 | A1 | A1 |

＊1 評価A:ほぼ硬度低下なし B:やや硬度低下 C:大幅に硬度低下
1:ほぼ変色なし 2:長期暴露で変色 3:短期暴露で変色
＊2 フッ素樹脂系のみA2
＊3 フッ素樹脂系のみC3



# 製品情報

### トップコート

| 製品名 | | AQ標準トップ | AQ標準トップサーモ | AQ耐久トップS | AQ耐久トップSサーモ | AQ耐久トップF | AQ耐久トップFサーモ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特長 | 材質 | 溶剤型アクリルウレタン系、速乾タイプ | | 高耐候性、弱溶剤型、アクリルシリコーン系、環境対応型 | | 超耐候性、溶剤型フッ素樹脂系 | |
| | 遮熱型 | − | ○ | − | ○ | − | ○ |
| 仕上がり状態 | | 平滑・艶あり | | 平滑・艶あり | | 平滑・艶あり | |
| 荷姿 | | 15kgセット(主剤6kg 硬化剤9kg) | | 15kgセット(主剤6kg 硬化剤9kg) | | 8kgセット(主剤2kg 硬化剤6kg) | |
| 標準塗布量(kg/㎡) | | 0.2 | | 0.2 | | 0.15~0.2 | |

### プライマー

| 製品名 | AQプライマーU | AQプライマーEP | AQプライマーFS |
|---|---|---|---|
| 材質・特長 | 1液ウレタン系 | 2液エポキシ変性ウレタン系 | 1液ウレタン系 |
| 用途 | ウレタン下地用(改修)、木下地用、アクアハジクンの層間用 | 金属下地用、コンクリート下地用 | 塩ビシート下地用(改修)、FRP下地用(改修) |
| 荷姿 | 16kg缶 | 18kgセット(主剤9kg、硬化剤9kg) | 17kg缶 |
| | | | 10kgセット(1kg缶×10) |
| 標準塗布量(kg/㎡) | 0.15~0.4 | 鋼板:0.1~0.15、コンクリート:0.4 | 0.1~0.15 |

※塗布量は下地の吸い込み状況によって増減します

# 副資材関連

| 種類 | 荷姿 | 種類・成分 |
|---|---|---|
| 機械的固定AQ-ML工法 | | |
| 機械的固定工法用絶縁シート | 幅1.04m×長さ15m | 自着層付き改善アスファルト/ポリエステルフィルム |
| 絶縁シート用テープ | 幅50mm×長さ50m×10巻 | 自着層付きポリエステルフィルム |
| 絶縁シート用ジョイント補強用クロス#5140 | 幅140mm×長さ50m×7巻 | 自着層付きポリエステル繊維クロス |
| 絶縁シート固定用アンカー40(ディスク一体) | 7.5mmφ(30mmφディスク)L:40mm(500本) | アルミ製 |
| 絶縁シート固定用アンカー60(ディスク一体) | 7.5mmφ(30mmφディスク) L:60mm(500本) | アルミ製 |
| 絶縁シート固定用アンカー70(ディスク一体) | 7.5mmφ(30mmφディスク) L:70mm(500本) | アルミ製 |
| 絶縁シート固定用アンカー80(ディスク一体) | 7.5mmφ(30mmφディスク) L:80mm(500本) | アルミ製 |
| 端末処理用テープ100 | 幅100mm×長さ20m×8巻 | 自着層付きブチルゴムテープ |
| 副資材 | | |
| 駐車場工法用骨材#10 | 25kg | 黒灰色セラミック系骨材(平均粒径0.3~1.7mm) |
| 見切り養生用バッカー | (幅15mm×高さ4mm×長さ1m)×100本/箱 | |
| ジョイント処理用テープ50 | 幅50mm×長さ20m×16巻 | 自着層付きブチルゴムテープ |
| 平場・立ち上がり補強用クロス#2000 | 幅1m×長100m | ガラス繊維織布 |
| 平場・立ち上がり補強用クロス#4000 | 幅1m×長50m | ポリエステル織布 |
| 平場・立ち上がり補強用クロス#4100 | 幅100mm×長さ50m×10巻 | ポリエステル織布 |
| 平場・立ち上がり補強用クロス#4200 | 幅200mm×長さ50m×5巻 | ポリエステル織布 |
| ガラス繊維織布クロステープ#100 | 幅100mm×長さ50m×4巻 | 補強用クロス(クラック・出入隅など) |
| ガラス繊維織布クロステープ#200 | 幅200mm×長さ50m×2巻 | 補強用クロス(通気緩衝シート端末部処理など) |
| パラペットアゴ用水切りテープ | 幅50mm×長さ50m×4巻 | ガラス繊維織布/ポリエステルフィルム |
| 通気緩衝AQ-VB工法 | | |
| 無孔通気緩衝シート 自着層つき | 幅1.04m×長さ15m | 改質アスファルト/ポリエステルフィルム |
| 通気緩衝シート用テープ | 幅100mm×長さ50m×4巻 | ガラス繊維織布/ポリエステルフィルム |
| 脱気装置 | | |
| 逆流防止弁付き脱気筒 | 2個 | ステンレス製 |

# アクアハジクン®使用上の留意事項

## 禁止事項



防水層は可燃性なのでタバコや花火等の火気を使用しないでください。



ガソリン、溶剤、不凍液等溶解力のある液剤はこぼさないでください。

## 対策必要事項



パイプ状のイスやテーブルは脚先をゴムキャップ等でカバーしてから置いてください。



角のある物は、間にゴム板等を敷いて養生してから置いてください。

## 注意事項



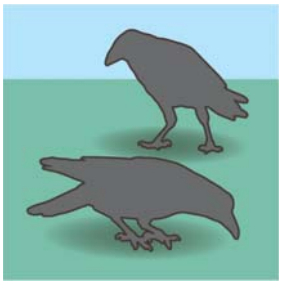

冷却塔の防藻剤や殺菌剤の種類によっては、防水層を痛める恐れがあるため、防藻剤メーカーに確認の上ご使用ください。




防水層を清掃する際は、モップ等のやわらかい清掃用具を使い、中性洗剤以外は使用しないでください。



濡れた表面は滑りやすいので、雨天および降雨後の歩行には注意してください。



動物、昆虫による防水層の損傷にご注意ください。

植木鉢を置く場合は鉢下に水が溜まらないように設置してください。長時間の水溜りは防水層の劣化を促します。
防水層の上で犬や猫などのペットを飼わないでください。設備工事の際、設置の都合で防水層を切断したり、
あるいは傷付けて漏水事故につながるケースは少なくありません。設備工事や増設工事を実施される場合は、施工業者あるいは弊社にご相談ください。

### 防水保証の考え方

・防水施工の完了後、5年毎に施工箇所を定期点検し、点検記録を請負業者へ提出してください。また、定期点検時に保護仕上げ層の異常が確認された場合、直ちに保証業者による補修を受けるようにしてください。(有償)
・また、ドレンにゴミ、枯れ葉等が詰まっていないか、飛来物等による劣化がないか等の現状確認を定期的に行い(目安2回以上/年)、異常発見時は速やかに請負業者に連絡してください。
・定期的に防水層の状態(破断、剥がれ、膨れ、開き、破損等)を確認してください。(目安1回以上/年)
・抗菌剤、防藻剤や殺虫剤の種類によっては防水層を痛める恐れがあります。そのため、ご使用の際はあらかじめメーカーに確認してください。
・防水層を清掃するときは、モップ等のやわらかい清掃用具をお使いください。また、中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。
・表面が濡れますと滑りやすくなります。雨の日の歩行には注意してください。
・動物・昆虫による防水層の損傷にご注意ください。
・植木鉢を置くときは、下に水が溜まらないように設置してください。
・設備工事や増設工事を含め防水層の上に新規に何らかの設置を行う場合は事前に請負業者にご相談ください。

# アクアハジクン®仕上がりに関する留意事項

① アクアハジクンの仕上がりは、エンボス仕上がりになります。
② 下地の不陸の影響により、仕上がりが平滑にならない場合があります。
③ 吹付直後に短時間で、硬化するため下地の凹凸やシートジョイントまたテープ類の端部等の形状をトレースし易い性質をもちます。
④ 粗面仕上げまたは無機質仕上げのトップコートは、裏面に微細な凹凸ができるためホコリが滞留しやすくなります。
⑤ 現場施工の特性上、トップコートの仕上がりは必ずしも均一になりません。







株式会社 日本アクア
〒108-0075 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20階
TEL:03-5463-1117(代表) FAX:03-5463-1118
https://www.n-aqua.jp/
アクアハジクン 検索

Ver.2024.3